

- 5月23日に名古屋市立大学で行われた、第73回日本生化学会中部支部例会において、本学薬学研究科分子生物薬学分野の大学院生岸本 圭史君が「ノックアウトマウスを用いた新規遺伝子fad104の機能解析」の研究発表により奨励賞を受賞しました。
- 5月23日に名古屋市立大学で行われた、第73回日本生化学会中部支部例会において、同研究科生命分子構造学分野の大学院生 西尾 美穂さんが「糖タンパク質の輸送に関わるレクチン型カーゴレセプターERGIC-53およびCa²⁺結合型タンパク質 MCFD2の相互作用様式の構造解析」の研究発表により、共に奨励賞を受賞しました。
- 池田麻美子さん（博士課程後期1年；薬化学分野）が平成21年度笹川科学研究助成を受けました。
- 猪狩聡一君（修士課程2年；薬化学分野）の研究発表「糖尿病治療薬を志向したGPR120選択的アゴニストの創製」が薬学会第129年会のハイライトに選出されました。
- 兒玉大介君（博士課程後期3年；中枢神経薬理学分野）が第82回日本薬理学会年会（於 パシフィコ横浜；平成21年3月16-18日）において年会優秀発表賞（計10名）を受賞しました。口演題目「神経因性疼痛モデルマウスにおけるグリシン取り込みの増加と海馬神経可塑性への影響」
- 大野晃稔君（博士課程後期3年；細胞分子薬効解析学分野）が第82回日本薬理学会年会（於 パシフィコ横浜；平成21年3月16-18日）において年会優秀発表賞（計10名）を受賞しました。口演題目「男性ホルモンによるユビキチン-プロテアソーム系を介した精管平滑筋のBKチャネル発現調節」